

●2018平昌冬季オリンピック大会の視察報告について

「2018 平昌（ピョンチャン）冬季オリンピック大会」を視察するため、秋元市長が山田一仁市議会議員らと共に、2 月 9 日から 12 日までの日程で、大韓民国・平昌、江陵（カンヌン）を訪問しました。

開会式のほか、大会競技や各施設の視察を通じて運営ノウハウやその課題を把握するとともに、北海道・札幌の PR や国内外の関係者と意見交換などを行いました。

このたびの視察を通して得た多くの知見を踏まえ、引き続き IOC(国際オリンピック委員会)と協議を重ねながら、今後の 2026 年冬季オリンピック・パラリンピック大会の招致の実現可能性を見極めてまいります。

1 視察の概要

- (1) 視察先：大韓民国・平昌、江陵
- (2) 視察期間：2 月 9 日（金）～12 日（月）（4 日間）
- (3) 視察団：6 人（秋元市長、山田 一仁市議会議員、スポーツ局職員、通訳など）
- (4) 主なスケジュール

日程	主な公務等
2 月 9 日（金）	・平昌着 ・2018 平昌冬季オリンピック大会開会式への出席【平昌】
2 月 10 日（土）	・メインプレスセンター視察【平昌】 ・JOC（日本オリンピック委員会）ジャパンハウス訪問およびレセプションへ出席し、安倍 晋三内閣総理大臣や竹田 恆和（たけだ・つねかず）JOC 会長、IOC 幹部などと懇談【平昌】 ・競技視察（アイスホッケー女子【江陵】、ジャンプ男子ノーマルヒル【平昌】）
2 月 11 日（日）	・競技視察（フィギュアスケート団体戦、スピードスケート男子 5000m）【江陵】 ・江陵オリンピックパーク、東京 2020 ジャパンハウス視察【江陵】 ・江陵選手村視察【江陵】
2 月 12 日（月）	・竹田 JOC 会長とともにトーマス・バッハ IOC 会長と懇談【平昌】 ・帰札



▲開会式に出席する秋元市長と山田市議会議員



▲女子アイスホッケーを視察する秋元市長

<参考>

1 2018 平昌冬季オリンピック大会について

開催地	大韓民国・平昌（ピョンチャン）、江陵（カンヌン）、旌善（チョンソン）
実施競技・種目	7 競技 102 種目
開催期間	2 月 9 日（開会式）～2 月 25 日（閉会式）

2 主な視察先の概要

<p>(1) 平昌オリンピックスタジアム 開・閉会式の開催会場。特徴的な五角形の形状は東洋の陰陽五行を表すとともに、平昌オリンピックの五大目標である「文化・環境・経済・平和・情報通信技術 (ICT)」を表現。大会後には、オリンピック遺産として残し記念館や体育公園などで活用予定。収容人数 3 万 5 千人。</p>	
<p>(2) メインプレスセンター (MPC) 世界各国・地域のメディア関係者約 3,000 人が取材活動を行う施設。通信設備など各種設備を提供し、24 時間運営される。記事の作成などを行うワークルーム (プレス 400 席・フォト 100 席) や記者会見場、ラウンジ等が設置されている。</p>	
<p>(3) JOC ジャパンハウス JOC が、国内外関係者向けのホスピタリティサービスや日本代表選手団等の記者会見を行う場として開設。ジャパンハウス内には、「北海道・札幌プロモーションブース」が設置されており、北海道・札幌の PR を行っている。</p>	
<p>(4) 関東 (クェンドン) ホッケーセンター 地上 4 階・地下 1 階、アイスリンク 1 面 (60m × 30m)。2 つあるアイスホッケーの競技会場の 1 つ (もう 1 つは江陵ホッケーセンター) であり、日本戦は 3 試合とも、関東ホッケーセンターで行われる。収容人数 6,000 人。</p>	
<p>(5) アルペンシヤスキージャンプセンター ラージヒル (K 点 125m)、ノーマルヒル (K 点 98m) のほか、3 台の練習用の台も設置されている。男女スキージャンプのほか、ノルディック複合の前半ジャンプも行われる。収容人数 8,500 人。</p>	

問い合わせ先

スポーツ局招致推進部調整課 奥村、里

電話：211-3042、ファクス：211-3048